

4. 令和3年度 YCOG 研究論文



■YCOG1903(渡邊 純先生)

Watanabe J, Suwa Y, Goto K, Nakagawa K, Ozawa M, Ishibe A, Suwa H, Kunisaki C, Endo I: Randomized controlled trial evaluating the effect of the use of a laparoscopic lens cleaning device during laparoscopic colorectal surgery on the multidimensional workload(YCOG1903). *Surgical Endoscopy*. 2023 Jun;37(6):4748–4753.
doi:10.1007/s00464-023-09972-1. Epub 2023 Mar 9.

この度 YCOG1903 試験の結果をまとめさせていただき *Surgical Endoscopy* に論文を掲載させていただきました。これまで腹腔鏡手術におけるスコープの曇りは術者のストレスとなっていました。YCOG1903 試験は、OpClear®という新たに開発された腹腔鏡に装着可能なレンズ洗浄装置を使用することで、大腸癌に対する腹腔鏡下大腸手術において、術者の多角的な手術特有の負担が、参照手技(温生理食塩水)と比較して軽減されるか否かをランダム化比較試験により検討した試験です。OpClear®群の術者は温生理食塩水群に比べ、身体的負荷が有意に少なく、腹腔外でのレンズ洗浄回数は、OpClear®群が温生理食塩水群より有意に少なかったという結果でした。したがって、本装置の使用は、身体的負荷という点で術者のストレス軽減に役立つ可能性が示唆されました。YCOG という多施設共同研究の枠組みを利用することで、症例の集積、論文化を行うことができました。本研究の実施に当たっては、ご参加いただいた患者さんとそのご家族、すべての先生方、看護師を含むすべてのケアスタッフの皆様、データセンターの方々に深く感謝申し上げます。また、YCOG へのご支援をいただきました先生方、関係者の皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。

横浜市立大学附属市民総合医療センター

消化器病センター外科 准教授

渡邊 純